

シニア文武両道

伊藤 二郎

2009年69歳で現役を退職してからが、本当の人生スタートと思い、シニア文武両道で、各種勉強、スポーツ、趣味を楽しんでいます。

学びのメインは英語と論語です。

英語のレッスンは、自宅近くにある亜細亜大学の社会人向け英語レッスンに通い始めたのがきっかけです。現在は、週1回、英国人の先生から約1時間、仲間2人（女性の元小学校の先生と元石油会社の幹部）と喫茶店で習っています。主に、BBC（英国放送協会）で掲載された時事問題解釈とその意見交換及び近況報告です。また、シニアラグビーの不惑倶楽部（後述）に入会していますが、その中に英語部があり、倶楽部所属の英国人の先生から月1回、2時間勉強しています。生徒は約10名で、半分はプレイヤーの奥様方です。話題は自由ですが、自分の趣味、近況報告などです。終わった後は飲み会があり、さらに倶楽部内の交流の輪が広がっています。

論語については、8年以上武蔵野大学講座に出席し、学んでいます。先生や皆と人生について意見交換できるのが楽しみです。また、渋沢栄一著作の「論語と算盤」の読書会に1年間通いました。論語は人生の生き方の物差しであり、難しい内容ですが、いろいろな考え方が学べますし、その考え方を少しでも身につけたいと思っています。学び事をしていると意欲ある友人が増えるのも、楽しみです。

囲碁については大学時代、職場などで時々楽しんでいました。50歳で不惑倶楽部に入会してからは囲碁対局を止めていましたが、70歳頃から再び始めました。最近、める碁会にも入会し、現在は、3つ囲碁会に所属し、友人が増えてきました。最近妻も囲碁を熱心に習い始めました。どのように指導したらいいか課題です。



写真1 める碁会・懇親碁会における青葉先生の指導碁、先生の右隣が筆者

武はシニアラグビーです。

今年（2019）ラグビーワールドカップが初めて日本で開催されました。日本チームは、初のベストエイトに進出する活躍で日本中を熱狂の渦に巻き込み、ラグビーの面白さが日本中に知れわたりました。日本チーム31名中、日本人15人、日本国籍取得9名、日本在国3年以上7名です。多くの国籍経験者が一つにまとまり、残せた結果はラグビー界にも財産ですが、人類平和の核として、誇れるものと思います。

高校では早大学院で3年間ラグビー部に所属し、熱心に部活動をしていました。試験のときにはいつも徹夜でした。年1回秩父宮で開催される早慶戦の前座試合に出場できたことが誇りになっています。大学では理科系の電気工学科でしたのでラグビーはGWRCという同好会に入り、4年間部活動をしていました。同好会といえども、練習は週5回もあり、この部活動が、社会に出てから、コミュニケーション能力など人間の生き方に役に立ったと思います。

社会人では国鉄本社チームに所属し、結婚するまで約5年間ラグビー部に所属していましたが、その後は業務に専念し、ラグビーとはほとんど縁を切っていました。44歳のとき、国鉄の鉄道技術研究所に転勤になり、ラグビー部で試合メンバーが不足のとき、時々プレイをするようになりました。49歳の時、鉄道総研ラグビー部がシンガポール遠征するのがきっかけで、またラグビーにのめり込みました。

50歳のとき、先輩の勧めで不惑倶楽部に入会しました。不惑倶楽部は1948年に発足したシニアラグビーの世界最初のクラブです。最初1年目は初期故障で小さな怪我をたくさんしましたが、毎週行われる試合や練習に備えると共に怪我を防ぐため、毎朝ジョギングをするようになりました。以来、約30年間ジョギングを継続しています。不惑倶楽部は数え40歳以上で入会できます。試合は年代別に分けて試合をしており、パンツの色で年代を区別しています。40歳(白パン)、50歳(紺パン)、60歳(赤パン)、70歳(黄パン)、80歳(紫パン)となっています。2019年私は、数えて80歳となり、紫パンとなり、日本全国から集まる紫パンツ東西対抗戦に出場できるようになりました。2019年4月大阪の花園ラグビー場で開催された東西対抗に出場し、シニアラグビーを楽しみました。



写真2 大阪・花園ラグビー場にて、右端が筆者

2019年7月パープル(紫パンツ)ドリーム会を発足させましたが、これは数え75歳以上のメンバーが将来、紫パンツまでラグビーを楽しめるように意図したものです。高齢になってラグビーを止める人が多くなっていますので、この会を通じて、他のクラブの人達とも一緒に練習したり、試合をしたりしながら、仲間を増やしたいと思っています。将来は80歳同志の試合がたくさんできるようになることを夢見ています。

(原稿受付 2019.10.22)